

業務部速報

No. 70

発行 16. 3. 3

JR東労組業務部

申6号「普通列車のグリーン車のアテンダント乗務区間の見直し」に関する緊急申し入れ 2回目

第1項 6月27日から実施している「普通列車のグリーン車のアテンダント乗務区間の見直しについて」に関する試行を中止し、サービス品質を向上させるため普通列車のグリーン車の車内改札業務はJR本体で行うこと。

議論継続中

前回交渉の課題について議論を再開

申6号1回目交渉（9月29日）にて、普通列車グリーン車のアテンダント乗務区間の見直を求めてきましたが、会社から「アテンダント乗車区間の検証不足であり、10月1日の実施時期を見直す」と回答を受けました。しかし、要求に対しては継続議論となっており、2回目の交渉となりました。

冒頭に会社の調査結果が示される！

【会社】

試行期間(6月27日)以前の、乗務省略区間発券実績
(車内での発券、物販販売実績)

線区名	区間	曜日	上り列車	下り列車
東海道線	平塚以遠～	平日	0.18件	0.77件
		休日	0.44件	1.49件
総武線	千葉以遠～	平日	0.72件	2.28件
		休日	0.56件	3.51件
宇都宮線	小金井以遠～	平日	0.04件	1.81件
		休日	0.17件	3.40件
高崎線	籠原以遠～	平日	0.06件	2.26件
		平日	0.61件	4.84件
常磐線	土浦以遠～	休日	0.11件	0.68件
		平日	0.54件	2.1件

◆ノリホ調査について

- 乗車率の調査は、効率的に乗務できる列車がどれか調べた。
- 期間中の全列車を調査し、平均値を出した。

◆調査結果による傾向は

- 上り列車については、乗務省略区間から乗車している利用者が、途中で降車せず、東京（首都圏）まで乗車している傾向にある。
- 列車個別の乗車率や販売実績は大量すぎて示すことが出来ない。

組合二社二組合

・なぜ、前回の交渉にて「10月1日実施を見直す」判断をしたのか。改めて確認したい。

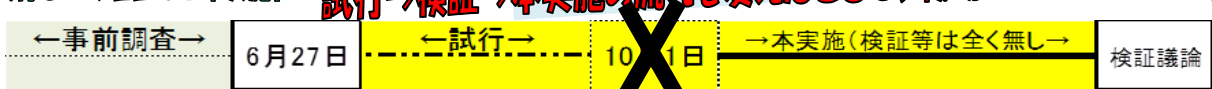
・前回の交渉で、指摘を受けたから実施時期を延期した。効率的に乗務していく上で試行の3線区（宇都宮、高崎、常磐）をみて、東海道線も同様に出来るという判断に至った。3月26日から本実施していきたい。

試行という名目だが、本実施と同じだ！試行のあり方が問題だ！

【本来の試行の手順】



【今回、試行という名目だが本実施】



サービス要の停止、アテンダントが乗せざるを得ない

会社三組合

試行＝本実施、そういう認識は持っていないことは明確に話しできる。

- 試行計画の側に問題があった。問題点の克服を次にいかすことは、認識一致しなくてはならない。
- アテンダントの要員数で乗務区間の見直し等をしているのか。
- 社員が集まるように本体が責任持つべき。

会社

・次にいかすのは共通認識だ！

確認！

- 乗務省略区間は、アテンダント社員がいらないから実施したわけではなく、先を見据えての形である。確認！
- 委託後、全てグループ会社に任せるものではない。NRE から相談されたら一緒に考えて行かなくてはならない

「本体に戻すべき。要求に対しては対立状態！」2016年ダイヤ改正交渉で再議論！

本体がグループ会社を支援する必要性を要請！

車内秩序、サービス品質向上の実現に向け、車掌業務の重要性を検証しよう！！